

しゃっくりと身体観

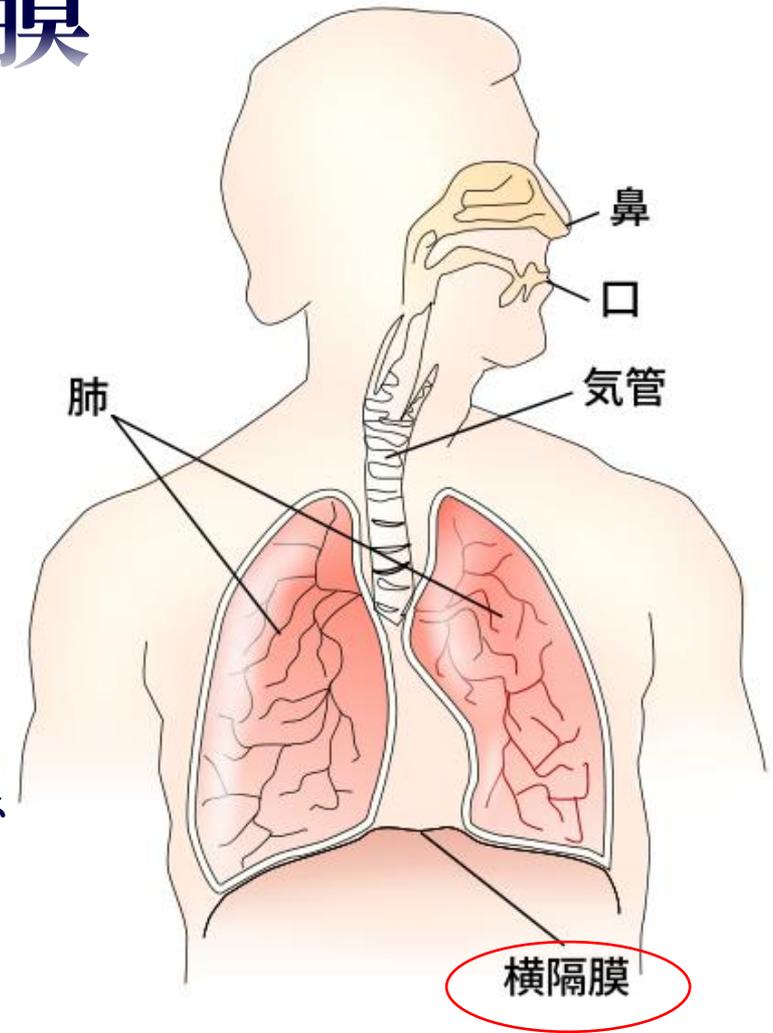
T

しゃっくりの原因

- ◆ 横隔膜の痙攣が主な原因
 - ー 筋肉の不随意収縮(ミオクローヌス)の一種

横隔膜

- ◆ 胸腔と腹腔の間の筋板
- ◆ 横隔膜が上下することで呼吸が行える



しゃっくりの原因

- ◆ 横隔膜の痙攣が主な原因
 - － 筋肉の不随意収縮(ミオクローヌス)の一種
- ◆ 声帯が閉じ、「ひっく」という音が一定間隔で生じる
- ◆ 会話や食事がきっかけで起こることが多い
- ◆ まれに、疾患が原因のことも

といわけで、しゃっくりの止め方

分類してみた・・・

- ◆ 息をとめる
- ◆ (水などを)飲む
- ◆ 身体にはたらきかける
- ◆ 食品をとる
- ◆ 質問
- ◆ おまじない・・・？

外国では・・・

- ◆ 息を止める、驚かせる、水を飲むなどは広く共通の止め方
- ◆ 米国では「横隔膜を意識する」など
- ◆ 中国ではツボ押し
- ◆ 質問責め、盗みの疑いをかけてなじる
⇒ 正法眼蔵随聞記にも記述あり
- ◆ 砂糖水を飲む、ハゲを思い浮かべる(なぜか二つ以上の国で見られた)
- ◆ しゃっくりを止める「Hiccupops」

そこまで違いはないのでは？

本当に効くのか？

- ◆ 横隔膜の痙攣が原因なので、息を止める動作は有効
- ◆ 特に息を「詰める」ことが効果的なのではないか
- ◆ 質問系は虚をつくことが目的？⇒何度もは使えない
- ◆ おまじないの効力は？

おまけ・しゃっくりの語源

- ◆ 古語の「さくり」からきている
 - ※さくり・・・「くり抜く」意
 - = 腹がくり抜かれているという“感覚”
- ◆ 英語では「hiccup」
 - = “音”が近い

Cf. 「咳」と「cough」

まとめ

- ◆ しゃっくりの治療は基本的に経験則によるもので、多少の地域差はあれど文化や身体観をこえて広く普及している

文化による身体観がさほど影響しないのはなぜか？

- 日常的でない
- 忘れたころに止まる
- 体液に関わらない
- 生死に関わらない

健康行動・不健康行動の中でも
身体観の影響を受けやすいもの・受け
にくいものは当然ある

⇒身体観の影響を受けやすい条件がある程
度存在する？

ex.体液、臓器、熱、戦いetc.

ご清聴

ありがとうございました！